



鎌倉 若宮大路の桜

目次

新任所長からの挨拶	2
退任所長からの挨拶	3
客員教員の異動について	4
大岡地区センターとの連携講演会の紹介	5
春のフェスタ・ヨコハマの紹介	5
令和 4 年度第 1 学期入学者の集い	6
2021 年度学位記授与式	7
令和 4 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧	8
Web 単位認定試験体験会を開催しました	9
K-サポートからのお知らせ、Web 単位認定試験体験会支援	9
学生サークルからのお知らせ	10
神奈川学習センターからのお知らせ	12

新任所長からの挨拶

学び続けることをサポートするために

放送大学神奈川学習センター所長
大谷英雄



福富洋志前所長の退任を受けて本年4月1日に放送大学神奈川学習センターの所長に就任いたしました大谷でございます。

放送大学(The Open University of Japan)は1983年に放送大学学園法に基づいて設置された大学であり、本センターは放送大学が最初に設置した学習センターの一つです。また、所属学生数は全国トップクラスであり、多数の卒業生を輩出するセンターとしても知られています。学習センターの特長に対面授業の実施や学生のサークル活動などがありますが、この2年余りはコロナ禍で対面での活動には制約がかかる中でも対面授業にWebでのオンライン授業を取り入れるなど福富所長のもとで多様な活動を積極的に進め、着実に発展してまいりました。まだコロナ禍が十分に収まっていないなかで、福富所長が発展させられてきた学習センターの所長に就任しましたことの責任の重さを改めて感じております。

私のもともとの専門は燃焼学を基礎とした火災・爆発の予防でありましたが、徐々に対象が拡大してきて最近ではコンビナート事業所をはじめとした化学物質関連のリスクマネジメント分野です。近年我々が生きているのはリスク社会であることが認識されるようになり、リスクマネジメントは必須の教養であると考えられるようになってきました。そこで、昨年には客員教授として本センターで「リスク入門」の面接授業を担当させていただきました。

放送大学には全科履修生として学士(教養)の学位取得を目指している方、資格を取得して仕事に生かしたい方、興味のある分野を深く学びたい方、さらには学びを継続して行いたい方など多様な方がいらっしゃることは理解しておりましたが、実際に面接授業を行うとその多様性を実感することができました。放送大学では他の大学では足下にも及ばないほどたくさんの授業が提供されており、その中から選んで授業を受ける皆さんの熱心さを感じることもできました。コロナ対応で教室の収容定員が少なかったことが残念でした。

コロナ禍で学習センターの断続的な閉鎖が続いてきましたが、自宅学習だけでは十分な効果を上げることが難しい科目や演習の実施、学生同士や教職員との交流の場の提供だけでなく、科目に対するご意見、ご要望に応じていくことが放送授業を中心とした放送大学に学習センターが存在する理由であり、それを機能させるのが学習センターの運営側の責務であると感じます。

「入学資格は『学びたい』という気持ち」というのが2022年度教養学部案内のキャッチコピーです。学生の皆様が日々「学びたい」という気持ちを持ち続けていただけるよう、より良い学習の場として神奈川学習センターが機能し、発展していくために教職員の皆様と共に取り組んでいきたいと思っております。

退任所長からの挨拶

神奈川学習センターでの 5 年間



福富洋志

新学期が始まって1か月以上が過ぎ、新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いて、勉学に励んでいらっしゃるものと存じます。

5年前にそれまでの教育と研究を中心とした大学教員の生活から、新たな世界に取り組めると大変楽しみに着任致しました。瞬く間に5年間が過ぎ、この3月末に任期を終えました。

2年前から機関紙に執筆を続けて参りましたが、それも今回が最後です。この機会に、所長としてセンターでの学びについて何を考え、何を行ってきたのかを、皆様の参考になればと少し紹介することに致しました。

着任初年度に、面接授業検討会を発足させ、計4名の客員教授の先生方に委員をお願いしました。心理学、語学、科学技術、経済経営、情報のカテゴリーをまず設け、それに、神奈川・横浜、健康・未病、現代社会、文化といった神奈川独自のカテゴリーを加えて、多様な科目がバランスよく開講できるよう配慮しました。実験科目の充実にも努めました。化学実験の他、高機能の顕微鏡やプログラミングの知識無しで多機能ロボットが作製できるセットなどを導入して新しい科目を開発しました。実験系の科目には放送授業では学べない知識が沢山あります。ぜひ履修していただきたいと思います。

面接授業について、もう一つ意図したことがあります。単位取得により保証される学力の水準です。面接授業に成績評価が導入されました。しかし、シラバスに授業内容を記すだけでは、何をどこまで理解することが単位取得に値するのかを学生の皆様に十分に知らせることはできません。神奈川学習センターのシラバスには、授業内容に加えて、他のセンターのシラバスにはない「到達目標」が明記されています。単位の取得は学びの成果の証です。到達目標を達成できたかをぜひ意識していただきたいと思います。

面接授業とともに卒業研究の履修支援も大切に致しました。卒業研究では、多くの場合教員のゼミに参加し、大学院生や他の学部学生との発表会や議論を重ねていくこととなります。放送授業では経験できない、異なる考えとの出会いや他者との議論を経て結論に到達する体験が学習の深化をもたらします。ダイバーシティの時代に欠かせない力が身につくこの上のない機会です。ぜひ

卒業研究に取り組んでいただきたいと説明会で紹介し、希望者との個人面談による研究課題内容の明確化、研究のアプローチなどの相談に力を入れました。卒業研究の履修申請が高い割合で採択されたことは大変喜ばしいことでした。

さて、2020年1月に日本で最初のコロナ感染者が確認され、2022年の4月を過ぎた今日まで日常生活への脅威が続いています。私の任期の後半は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が最優先事項になりました。そのため、面接授業科目の充実、卒業研究の支援などに続いて考えていたアクションプランを実行することができませんでした。今も残念に思っています。しかしながら、学校医の先生にアドバイスをいただいて感染対策を行った結果、神奈川学習センターが感染拡大の場になることはなく、学生の皆様の学習支援を継続することができました。

ご存知のように、学習センターは、全日制の大学と同様の面接授業、単位認定試験、大学院入試だけでなく、生涯学習機関として、地域連携、バス研修、学習支援、機関紙編集、パソコン指導などによる学生の学業支援も担っています。着任早々の時期はもとより、一年を通してK-サポートの皆様にご支援いただき充実した活動ができました。通常時だけでなく、コロナ禍の中でも機関誌の発行、まもなく第1回が実施されるIBTへの準備活動への支援など、厳しい環境の中でも快くご協力下さいました。ここに記して御礼、感謝を申し上げます。

神奈川同窓会、サークル連合の皆様にも様々なご支援をいただきました。同窓会からご寄贈いただいた絵画は、神奈川学習センターの学生の方々に、本物のすばらしさを伝え続けてくれることでしょう。

放送大学は創立以来39年が経ち、年々知名度が上がっています。しかし、価値ある大学としてさらに発展していくためには、ここで学んだ皆様が、その力を社会で発揮していただくことが欠かせません。放送大学で取得した単位や学位は、達成目標ではなく、豊かな人生を創るための通過点であると思います。皆様が今後も着実に学びを続け、年齢を問わず、大きく成長していかれることを心から願っています。

客員教員の異動について

神奈川学習センターでは、2021年度末で7名の客員教員が退任され、この4月からは新たに4名の先生をお迎えします。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

●2022年3月31日 退任

大石 彰 客員教授 (可換代数学)	大戸 安弘 客員教授 (日本教育史)	荻野 俊郎 客員教授 (ナノテクノロジー)	小泉 淳一 客員教授 (生物システム工学)
後藤 敏行 客員教授 (画像処理、CG、福祉情報工学)	高橋 邦年 客員教授 (英語学)	白井 宏明 客員教授 (経営シミュレーション、ビジネスゲーム)	

●2022年4月1日 着任



梅澤 修 客員教授

【専門】金属組織学、材料強度学

循環型社会システムの構築に資する材料とプロセスの創造には、製品や部材の機能・特性と結びつく材料の組織・構造の理解が欠かせません。「デザイナーズマテリアル」について一緒に考えてみたいと思います。



大庭 絵里 客員教授

【専門】逸脱・社会問題の社会学、犯罪社会学

私の専門領域は、社会学のなかでも、逸脱・社会問題の社会学、犯罪社会学（特に犯罪とメディア）という分野です。ジェンダー・セクシュアリティにも関心があります。人と人との間の相互行為、「現実」の社会的構築という観点から具体的に考察して参りたいと思います。



田中 英登 客員教授

【専門】環境生理学、運動生理学

私の研究テーマは、「環境の及ぼす身体への影響」、特に温熱環境との関係について中心に進めています。講義としては、生活習慣における環境に対する人の身体適応を中心に進めます。例えば、近年の地球温暖化などの影響による熱中症の現状とその対策やスポーツ活動時の暑さ寒さ対策などについて紹介し、課題などについて考えていきたいと思います。



八木 裕之 客員教授

【専門】サステナビリティ会計学、サステナビリティ経営学

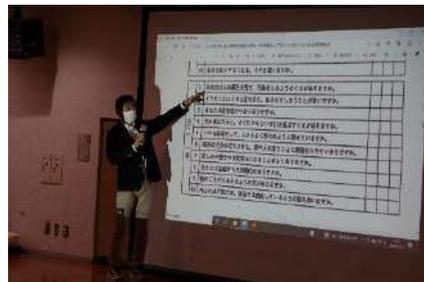
SDGs や気候変動対策に象徴されるように、サステナビリティ経営は現代企業に不可欠な経営戦略の1つになっています。社会的課題、サステナビリティ経営・会計などを学びながら、これからの企業経営のあり方についてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

大岡地区センターとの連携講演会の紹介

神奈川学習センターと横浜市大岡地区センターは、生涯学習社会の実現に向けた「学び」の機会を幅広く提供することを目指し、2019 年度から連携して公開講演会を開催しています。

2021 年度の公開講演会は、「健康」と「音楽」に関連したテーマでそれぞれ 11 月 21 日（日）と 3 月 5 日（土）に開催されました。

11 月の講演会では横浜国立大学教育学部教授の物部博文先生を講師に迎え「ストレスと心の健康」をテーマに、ストレスの程度や自身の特性をチェックしストレスとの付き合い方について学習しました。また、ストレスを緩和するような呼吸法やストレッチも体験しました。



3 月の講演会では横浜国立大学名誉教授の茂木一衛先生を講師に迎え「音楽と物語」をテーマに、視聴覚資料やピアノとバイオリンの演奏を交えながらシューベルトの未完成交響曲に秘められた物語性や感動の源などを探りました。



どちらの講演会も定員を大きく上回る応募があり参加者からのアンケートでは高い評価を頂きました。神奈川学習センターでは、今後も生涯学習に資する講演会等を実施していく予定です。

春のフェスタ・ヨコハマの紹介

3 月 19 日（土）に放送大学神奈川サークル協議会、神奈川同窓会、K-サポートチームの 3 団体共催により、神奈川学習センター学園祭フェスタ・ヨコハマが開催されました。これまで新型コロナウイルスの影響により中止が続いていたため約 3 年ぶりの開催となりました。

今回のフェスタでは、福富所長（当時）の退任記念特別講演会として「材料現象のメカニズム研究と材料開発のキャッチボール」を演題に講演会を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として Zoom によるオンライン開催となったにもかかわらず 100 名を超える参加があり、盛況を博しました。



令和4年度第1学期入学者の集い

4月10日（日）、令和4年度第1学期入学者の集いをZoomを利用したオンライン方式で開催しました。大谷所長の式辞の他、金田同窓会会長、白水客員教授、植村客員教授からご祝辞をいただきました。

大谷所長の式辞より

放送大学は1983年に放送大学学園法に基づいて設置され、本センターは放送大学が最初に設置した学習センターの一つです。



学生数は全国トップクラスで多数の卒業生を輩出するセンターです。学習センターの特長に授業の実施や学生のサークル活動などがあります。この2年余りコロナ禍で制約がかかる中でも対面授業にWebでのオンライン授業を取り入れるなど福富前所長のもと多様な活動を積極的に進めました。福富前所長が発展させられてきた学習センターの所長に就任した責任を感じます。

私のもともとの専門は燃焼学を基礎とした火災・爆発の予防でしたが、対象が拡大し最近では化学物質関連のリスクマネジメント分野です。近年、リスクマネジメントは必須の教養であると考えられるようになってきました。昨年は客員教授として本センターで「リスク入門」の面接授業を担当しました。

放送大学には学位取得を目指す方、資格を取得して仕事に生かしたい方、興味のある分野を深く学びたい方、学びを継続したい方など多様な方がいると理解していましたが、実際に面接授業を行うとその多様性を実感できました。放送大学ではたくさんの授業が提供され、その中から選んで授業を受ける皆さんの熱心さを感じることもできました。

自宅学習だけでは十分な効果を上げることが難しい科目や演習の実施、学生同士や教職員との交流の場の提供、科目に対する意見、要望に応えることが学習センターが存在する理由で、それを機能させるのが学習センターの運営側の責務と感じます。

「入学資格は『学びたい』という気持ち」が2022年度教養学部案内のキャッチコピーです。学生の皆

様が「学びたい」という気持ちを持ち続けられるよう、教職員と共に取り組んでいきたいと思っております。

金田同窓会会長の祝辞

この度はご入学おめでとうございます。

今日の「入学者の集い」より皆様は希望のスタートラインに立つことが出来ました。そして「学生」と呼ばれるようになりました。皆様もご存じの通り、「小学校では児童」と言い、「中・高等学校は生徒」と言いますね。何が違うのでしょうか？「児童・生徒」のように教えて頂くのではなく、「学生」は自ら学ぶものです。放送大学は入学試験が無いため入るのは楽ですが、出口は相当ハードルが高く、卒業に至る割合は、卒業を目指す「全科履修生」の中でも約11%程度です。「忍耐」に近い努力も必要です。

「アルベルト・アインシュタイン」は、「昨日から学び、今日を生き、明日に希望を抱け」と言っています。常に毎日が学びの連続ですね。しかし通信主体の授業は、ともすれば孤独に陥り、挫折しそうになります。またアインシュタインは「挫折」を経験した事の無い者は、何も新しいことに挑戦したことが無いという事だ！とも言っています。さあ！明日に向かってスタートラインに立ちましたが、この先困難があり強い意思のみでは、人は誰も挫折することがありそうです。

しかし困難にもかかわらず、歩み続けることが出来る人もいます。挫折しない方法はあるのでしょうか？それはあります。難しい事ではありません。仲間を作ることです。また仲間に入ることです。

神奈川学習センターは、「サークル活動」が盛んで仲間と一緒に歩きますと、無限に遠く見える一つのゴールにも楽しく会話しながら歩みを進めることが出来ます。是非「サークル」や「ゼミ」の仲間に入ることをお勧めします。また卒業の暁には、同窓会にも是非入会して下さい。



同窓会は未だ見たことが無い未来をより良くするために、生涯学習を実践する方に寄り添っています。さあ歌を歌いながら一緒に歩みましょう！

白水客員教授の祝辞

ご入学おめでとうございます。皆さんが入学に至るまで様々な努力をされて今日こうして入学式を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

私は中国の近現代文学研究にジェンダー研究を導入した、文学と社会学の領域を横断した研究をしています。授業では日本、中国、台湾、韓国などを対象に身近な社会問題を通して東アジアのジェンダーやセクシャリティの問題を考えています。さて、皆さんは大学で学ぶことと高校で学ぶこととどこが違うとお考えでしょうか。単に専門性が加わるということだけではないことは確かです。私の専門分野の人文科学系に関しては知識やスキルの修得よりも課題を分析する視点の修得に比重が大きく置かれています。例えば私の面接授業では、ジェンダーの視点で社会の様々な現象を分析してこれまで何の疑問も無く受け入れていた現象が実は深刻な問題を抱えているということを明らかにしていきます。学んでほしいのはその具体的な現象ではなくて、なぜ問題なのかを浮き上がらせるその方法や視点です。その視点を自分の関心分野に適応して新たな発見をしてほしいと思っています。

大学で学ぶということは自分自身の新たな世界観を獲得することだと私は考えます。皆様は色々な面接授業に出席してその授業で使われる方法、視点を貪欲に吸収して、固定観念から解放され、多面的で相互的な物事を考える力を獲得してほしいと思っています。大学とは学ぶことを楽しむ場でもあり、学んだ知を交流する場でもあります。ですからぜひ神奈川学習センターを学びの場、交流の場として活用していただき、充実した学生生活を送っていただきたいと心より願っています。この度はご入学おめでとうございました。

植村客員教授の祝辞

この度は放送大学へのご入学おめでとうございます。非常に色々な経験を持った人、色々なお年の人、女性、男性、ジェンダーの違いもあるかと思えます。

そのような多様性があることが放送大学の非常に大きなメリットであり、どうかそれを活用していただきたいと思います。

私のゼミナールは元々グローバル時代の経済政策というテーマで始めましたが、ポストコロナあるいはアフターコロナの経済政策や社会政策や社会福祉を皆で考えようとなっていきました。授業でも、コロナの後の分配、賃金、経済政策がどのようにかわるのか、新しい日本の社会や経済のビジョンをどのように考えたらよいのか、などの話を皆さんと一緒に考えています。

多様性ということで紹介させていただきたいのは、ゼミナールのメンバーは50代から70代の方までいらっしゃいます。現役で働いている方、リタイアしたばかりの方、社会保障の仕事が一段落したのもう一度勉強したいという70歳の女性の方もいます。女性、男性、そして全世代型のゼミナールとして一生懸命交流を進めています。交流の場としてゼミナールは素晴らしい場です。ゼミの最大のテーマは、コロナが終わった後に日本の社会の中でジョブ型の働き方で自分のキャリアを達成していくのはどうしたらできるのか、そのような話をしています。様々な世代の方が参加して素晴らしい交流の場になっています。これを活用して素晴らしいコミュニケーションと学修を進めていただきたいと思います。本日はご入学おめでとうございました。

2021 年度学位記授与式

2022年3月23日(水)に、国技館(東京都墨田区)において2021年度学位記授与式が行われました。式典では、岩永雅也学長からの学長式辞、同窓会連合会の北野敏夫会長からの来賓祝辞などがありました。



また、2021年度の神奈川学習センター所属の学部卒業生は421名、大学院修士課程修了生は14名、大学院博士課程修了生は1名でした。

令和4年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、所長、客員教員が主催する勉強会です。実施方法は、①「学習センターでの対面式」、②「Web 会議システム等オンライン」、③「①と②の併用式」があります。①の**学習センターでの対面式の場合**、本センターの教室を使用してのゼミは現在**教員を含めて10名以下**としております。ゼミの開講状況、実施方法については、**教員までご確認ください**。

●神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日	連絡先
飯田 深雪	世界の多様性を学びながら育む英語コミュニケーション能力	英米児童文学を読みます。また、異文化についての読み物も読み、ディスカッションや英語での会話も行います。	毎月第2、第4土曜日 10:30～12:00 まで	iidamcat9@gmail.com
植村 博恭	グローバル時代の社会と経済政策：生活者の視点から考える	本ゼミナールは、グローバル時代の社会と経済政策のあり方について学びます。特に、様々な身近な問題を毎日働き暮らしている生活者の視点で考えていきたいと思えます。 日本企業における働き方の改革、男女平等社会の実現、退職後の安心できる暮らし、個人資産の有効な管理と運用などを取り上げつつ、私たちひとりひとりの生活を支えてくれる経済政策のあり方はどのようなものか、勉強していきます。特に、若者、中堅世代、高齢者、女性、男性といった様々な世代の市民の観点からゼミを進めて行きたいと考えています。	毎月2回 金曜日 または 土曜日	huemura@symphony.plala.or.jp
大谷 英雄 新規開講	化学災害を知る	化学産業あるいは化学物質において発生する事故を防止し、災害を防ぐための一つの方法として過去に起こった事故について分析・検討し、その再発防止あるいは類似の事故の発生を防止するための情報を得ることが有益であるとされている。このゼミナールでは、過去の事故について一緒に考えてみたいと思う。	毎月第3火曜日 学生との調整により変更もあり	ohtani-hideo-hc@outlook.com
間嶋隆一 新規開講	三浦半島の地層と化石を探る	三浦半島の地層と化石について研究紹介を行い、論文の紹介など行う。関連する地層の露頭や化石産地を訪れ、データの採取と解析を行う。 野外での活動は、城ヶ島、逗子から葉山の海岸、横須賀市浦郷町貝山緑地、横浜市栄区瀬上市民の森で行う。	講義室での毎月第1日曜日(予定) 野外での活動4回(左記参照)	majima-ryuichi-ym@ynu.ac.jp

●元客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催日	連絡先
上川 孝夫	上川ゼミ	経済を学ぶゼミです。金融を中心に、日本や世界の経済、経済史や経済思想など、幅広いテーマを取り上げます。コロナウイルスの感染拡大が続く場合、Zoomを活用したオンライン・ゼミの形で実施します。	毎月第3土曜日	kamikawa@ynu.ac.jp
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール	毎回2.5時間(休憩10分)の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行なう。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	原則毎月第2または第3土曜日	takahak18@gmail.com
杉田 正樹	哲学ゼミ	哲学カフェをやります。身近な問題をその場でお互いに出し合い、それについて話し合います。特別な準備や知識は不要です。	原則毎月第3土曜日	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
茂木 一衛	茂木ゼミ	ヨーロッパの芸術的な音楽を中心に、表現や鑑賞などの活動を通して、音楽の楽しみ方や味わい方を学びます。 コロナウイルス蔓延で所内活動を控えるべき場合などはオンラインで行います。	原則として金曜日に月2回	kmoteki@nifty.com

Web 単位認定試験体験会を開催しました

放送大学の 2022 年度単位認定試験は、パソコンを使った Web 受験方式にて実施されます。これに先立ち、神奈川学習センターでは 3 月 8 日（火）から 3 月 12 日（土）にかけて、パソコンの操作に不安のある方やご自宅にインターネット環境がない方向けに Web 単位認定試験システムの体験会を開催しました。開催にあたり、K-サポート パソコンサポートチームの鈴木康年さん、竹内礼子さん、橘進太郎さんには、学生の自習をサポートする補助員として多大なご協力をいただきました。体験会の終了後には福富所長（当時）から 3 名に対して感謝状の贈呈を行いました。



体験会後に実施したアンケートでは、「Web 単位認定試験のシステム操作方法が概ね理解できた」という質問に対して多くの参加者が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、体験会の効果が確認できました。

一方で、参加者の約半数がシステム WAKABA へのログイン ID・パスワードがわからず、パスワードの初期化に多くの時間を要すなど課題も見つかりました。

5 月からは神奈川学習センターで単位認定試験を受験する方向けに Web 単位認定試験体験会を開催します。学習センターで単位認定試験を受験するためには、期日までに「学習センター受験申請書」を大学本部に提出する必要があります。詳細は本紙裏表紙を参照してください。

K-サポートからのお知らせ

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。また、学習を継続される在学生の皆さまにメールを送ります。

K-サポートは従来、神奈川学習センター（K）を支援（サポート）する活動を行ってきました（「学習センター利用の手引き 2022」p.46 ご参照）が、2020 年度以降はコロナ禍により、このセンターだよりの編集に協力する機関紙編集チームに活動が限定されていました。

2022 年 3 月にパソコンサポートチームのメンバーが、学習センター主催の Web 単位認定システム体験会の支援を行う形で久しぶりに活動しました。支援に携わったメンバーからのメッセージを紹介します。（K-サポート事務局）

Web 単位認定試験体験会支援

システム WAKABA の使用経験がほぼ無い方を想定して本体験会用の「自習参考資料」（A 4 の 17 頁）を神奈川学習センター確認のもとに学生目線で作成しました。

8 3 名の受講生に対して、5 日間 15 コマ（1 コマ＝1 時間）を 3 名で交代して「放送大学の Web 単位認定試験体験版」の送信完了までの支援を神奈川学習センターで行いました。操作そのものは直接支援しないで、自習参考資料の記述部分を示し、体験会後も受講生自らが操作できるようにアドバイスしました。

ログインパスワードの初期化（学習センター対応）の必要が約半数の受講生に発生しました。初期パスワードの変更をしていないため無効、自宅のパソコンに自動保存したため覚えていない等が原因でした。また、マウス操作等に不慣れな方も散見されました。

本チームは、I B T（Internet Based Testing）受験操作レベルの入門支援を行うとともに時代に合った活動を模索していきたいと考えます。（パソコンサポートチーム 鈴木 康年）

学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせ下さい。神奈川学習センターではお答えすることができません。

現在、学習センターの利用制限等により、平常時と異なった活動になっています。現在の活動と平常時の活動が記載されていますので、ご注意ください。

○神奈川放友会

1985年、当学習センターの開設と同時に生まれたサークルで、「人間的交流を通じて豊かな学生生活を共有する」という理念の下に、多くの会員が様々なイベントや会内同好会に集い、共に学んでまいりました。前年度はコロナ禍により活動が極度に制限され、孤独な時間に耐えた1年でしたが、今年度はリアルな活動を再開して、会員間の絆を深めてゆこうと張り切っています。みなさん、共に学び、共に語り合しましょう。詳しくは、ホームページ <http://kanagawa-hoyukai.jp/> を御覧下さい。お問合せは、事務局：真野憲助 まで。(メール mano.ken@nifty.com 電話：090-3507-7540)

○韓国語同好会

- ★目的 韓国語の日常会話を習得する。日韓交流会を通して韓国の歴史や文化に直接触れる。
- ★定例会 月 2 回 第 1, 第 3 土曜日(基本) 10:00~12:00 ①Zoom(リモート)授業 60 分 & 会員ミーティング 30 分 ②対面授業 90 分 <大岡地区センター&学習センター> いずれも講師;姜貞福(강정복)先生です。(①②のいずれかで実施)
- ★Zoom(リモート)親睦会 11:00~12:00 会員に限らず有志で実施
- ★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページ <https://kcc-oug.net/danntai/hanngugo/> 090-5797-9418(村田)

○資格取得研究会

- 看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、ひと月に 1 回、土曜または日曜に開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。
- ★会費: ¥500(1年間)
- ★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>
- ★お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○人間学研究会

- ★目的:「人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」 会員 69 名(男性 41 女性 28)
- ★月例会: 卒業研究・旅行経験等のテーマで発表
- 5 月 7 日 12:30「東京オリンピック・パラリンピック選手村裏話」
- 6 月 4 日 12:30 (大岡地区センター会議室 5 月 6 月同じ)
- ★会誌「せせらぎ」32 号を発行
- ★ウォーキング : 鎌倉他散策
- ★お問合わせ : 大和田克美 oowada-katsumi@u01.gate01.com

○うえるかむ Kanagawa

- 私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。
- *例会は原則、毎月第 2、第 4 水曜日。現在、Zoom を利用したオンライン開催
- *外国人講師の英会話レッスン(10:00~11:30) (参加費有料、初中級・上級の 2 クラスに分かれ、各 45 分)
- *Group Study(13:30~15:30) (入門・初級・中級・上級の 4 クラスに分かれ学生同士で学ぶ)
- *10 月以降状況によりオンライン・対面併用検討中
- *年会費: 現在は無料(通常は年 1,000 円)
- *ホームページ <https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>
- *問い合わせ 金子 響(e-mail:kaneko-toyomu@outlook.jp)

○放大かながわレク・サークル

- ★サークル活動: 放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」
- ★例会: 2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)
- ★ウォーキング: 2ヶ月に1回、「日光街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。
- ★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。上記の各種活動はいずれも自由参加。一会員募集中(随時申込・受付)一
- ★問合せ: 島田 義治 Tel 090-3907-8384 E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○ダンスサークル(社交ダンス)

学習センター閉鎖中は活動休止

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。未経験者大歓迎！

★神奈川学習センター第 7 講義室★毎週火曜 14:00～16:00(第 1,第 3 週は自主練習)★会費 1500 円/月、年会費 1000 円★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)★全科履修生の方は 30 時間のレッスンで体育実技 1 単位の取得が可能。

連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

○スペイン語研究会

★目的:西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。★活動:月 2 回(第1・第 3 木曜日)。★会費:月 1,000 円。★内容:ペルー人女性講師による日常会話習得、会員・ゲストスピーカーによる西語圏研究発表・講演。★その他:反省会等。★学習センター閉鎖中は、大岡・南地区センター利用。

★連絡先:会長・肥後照雄・メールアドレス: 1210271224@campus.ouj.ac.jp

○中国語学習会

日常会話の習得を目指して、中国人の先生と楽しく学びます。コロナ蔓延中は ZOOM で、第2・4日曜日の午前11時から[発展クラス]と、午後1時30分から[基礎クラス]の2コース。どちらも参加できます。

初めての方も、それなりの方も「歓迎光臨」。

詳細は、下記までお問合わせください。

elcondor@ra2.so-net.ne.jp :近藤または、
tomomama4213@docomo.ne.jp :細矢まで。

○神奈川合唱団

★合唱未経験者歓迎

★合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでいます。

★2021 年度は、チャリティ・コンサート(神奈川公会堂)で<アニーローリー>、<心の瞳>等を歌いました。

★指導は、発声・歌唱を清水一成先生(プロのオペラ歌手

ピアノ伴奏を新井ゆう子先生のご指導で練習に励んでおります。

☆場所:大岡地区センター 音楽室 2 階
(放送大学神奈川 SC の斜め前のビル)

☆練習日:毎月 第 2・4 水曜日 18:30～20:30

☆連絡先:nobukishi0429@gmail.com

○歩・歩の会(地球研)

目的:地球科学ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルで、地球科学をベースに自然を学び「人新世(Anthropocene)」における地球環境危機について考え、SDGs に寄与していきたい。

活動:毎月一回程度

活動場所:三浦半島海岸、伊豆大島、丹沢山地、伊豆東部単成火山群の地質、地層の観察、各地の Geo Site 行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。(代表:吉岡・中澤)

e-mail earth.hoho.kanagawa@gmail.com

神奈川同窓会だより

○第 33 回通常総会

2022 年 5 月 18 日(水) 書面総会で開催

○第 33 回通常総会 報告会・懇談会

2022 年 5 月 28 日(土)10:00～12:00

Zoom によるオンラインミーティングで、議案決議の状況、議案の説明等を行い、参加会員と意見交換を行います。

同窓会に対するお問合せ info@hatoh.net

OUJ 神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、
三国(以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

中ノ園(学習センター事務局)

神奈川学習センターからのお知らせ

2022年度第1学期単位認定試験（Web受験方式）について

実施概要

- Web受験方式で実施します（一部科目※のみ郵送受験方式で実施します）。
 - ・インターネットを通じて、**試験期間中、いつでも自宅等から受験することができます。**
- ※「正多面体と素数('21)」「日本美術史の近代とその外部('18)」「量子化学('19)」のみ
- 1科目50分の制限時間があります（郵送受験科目除く）。
- 「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します（郵送科目除く）。
- Web単位認定試験システム体験版を公開しています。
 - ・システムWAKABAからWeb単位認定試験システム体験版が利用可能です。（視聴学習室の端末でもWeb単位認定試験システム体験版が利用できます。）
 - ・**試験期間前までに、受験に使用する予定の端末から必ず体験版の操作を行ってください。**

試験日程

Web受験方式 2022年7月15日（金）9:00～7月26日（火）17:00
郵送受験方式 2022年7月15日（金）～7月26日（火）《必着》

重要 インターネット環境がないまたはパソコン操作が困難な方へ

Web受験が困難な場合の学習センター受験申請について

ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情によりWeb受験が困難な方は、**所定の期間内に申請を行うことで、学習センター等のパソコンを用いて受験することができます**（記述式の解答のみ解答用紙で行います）。ただし、「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日・時限に受験する必要がありますのでご注意ください。

学習センター受験申請方法

申請様式 学習センター受験申請書（印刷教材等に同封。印刷教材の発送がない場合「番組ガイド」等に同封します）
申請期間 **2022年4月1日（金）～5月23日（月）《必着》**
申請宛先 〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 放送大学学務部学生課単位認定試験係 行

Web単位認定試験体験会について

「学習センター受験申請書」を提出いただいた方を対象に5月から7月にかけて、神奈川学習センターで操作体験会を実施します。実施日時等詳細は「学習センター受験申請書」を提出いただいた方に対しご案内を送付いたしますので、ご確認ください。

第1学期通信指導の提出期間等（学生生活の葉を熟読のこと）

《Web提出》 2022年5月9日（月）10:00～5月31日（火）17:00まで
《郵送提出》 2022年5月16日（月）～5月31日（火）**放送大学本部必着**
〈添削結果返送時期〉 2022年6月末～7月上旬

以下の期限までに添削結果が届かない場合は、**放送大学本部**まで連絡してください。

- ① 択一式科目（併用式科目の択一部分）： 2022年7月11日（月）
- ② 記述式科目（併用式科目の記述部分）： 2022年7月14日（木）

- 通信指導は、放送授業科目の単位認定試験を受験するための中間課題です。
 - 未提出及び期限外に到達した場合は**単位認定試験を受験できません。**
 - 問題は原則印刷教材とともに送付されます（再履修等の場合は別途郵送されます）。
- 5月6日（金）**までに届かない場合は、**放送大学本部**に連絡してください。

放送大学本部窓口：043-276-5111